

新市地区における「かわまち広場」の整備について

2026年(令和8年)6月1日

「かわまちづくり」支援制度

<制度概要>

- 地域の「かわまちづくり」の取り組みを河川管理者が支援する制度。
- 「かわまちづくり」を進める推進主体※が「かわまちづくり計画」を河川管理者と共同で作成し、支援制度に登録・申請を行う。支援制度に登録されると、河川管理者がハード、ソフト施策の支援を行う。

※推進主体:「市町村」、「市町村及び民間事業者」、「市町村を構成員に含む協議会」、「民間事業者」

<目的>

地域の資源と創意を生かし、市町村・民間・住民が取組を支援して河川管理者と連携して「かわまちづくり計画」を作成・支援制度に登録する枠組みを定め、河川管理者、河川とまちが融合した良好な空間形成による活性化を目指す。

<支援内容>

ソフト支援:「かわまちづくり」の実現に向けて必要となる調査・検討、都市・地域再生等利用区域の指定支援等

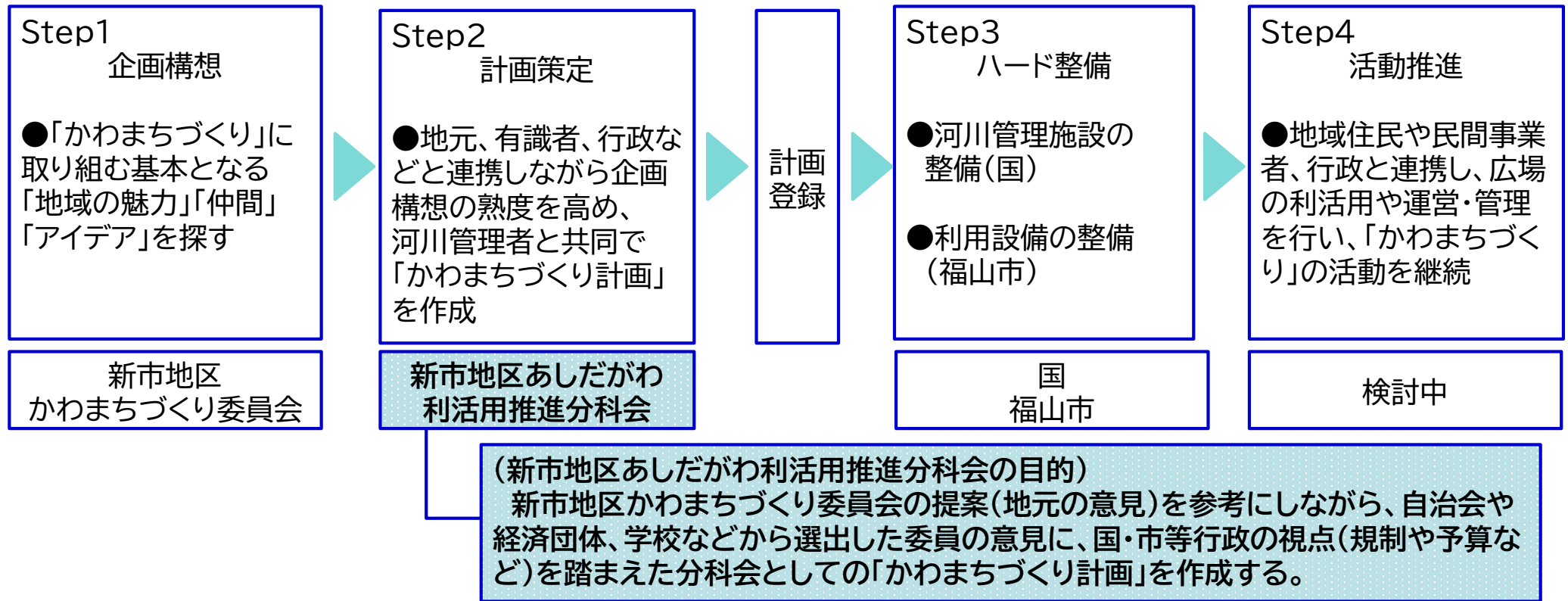
ハード支援:地域活性化に資する河川管理施設の整備(例:スロープ、階段、親水護岸等)

<財政支援>

- 地域未来交付金
- 社会資本整備総合交付金 ほか

かわまちづくり計画の作成について

新市地区かわまち広場整備の流れ



分科会スケジュール(案)

時期	第1回(R8.6.1)	第2回(R8.7頃)	第3回(R8.9頃)	第4回(R8.11頃)	(予備)第5回
検討項目	<ul style="list-style-type: none"> ✓分科会設置等 ✓地元のこれまでの取組と提案 ✓6月提出パース ✓論点整理 	<ul style="list-style-type: none"> ✓LINEアンケート結果 ✓まち歩き結果 ✓論点に関する意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ✓「かわまちづくり計画」の骨子案に関する意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ✓「かわまちづくり計画」(案)に関する意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ✓「かわまちづくり計画」の成案化

かわまちづくり計画の作成について

かわまちづくり計画の記載内容

記載内容	具体的内容
(1)水辺とまちづくりに関する基本方針、地域活性化や賑わいあるまちづくりに資する定量的目標	●まちづくりの中での河川の位置づけ ●賑わいあるまちづくりに対する市町村や地域の考え方 ●地域活性化の定量的目標(利用者数、地価等)
(2)支援事業の内容(ソフト施策、ハード施策)	【ソフト施策】●実施範囲や提案事業の概要 【ハード施策】●整備範囲や整備の概要(整備する施設、整備箇所ごとの平面図、標準横断図など) ●整備イメージ(パース絵等) ●整備の実現
(3)推進体制	●協議会、運営組織等の体制 ●賑わいあるまちづくりに資する多様な関係者との連携・取組内容 等
(4)安全な河川利用に向けた取組	●河川利用者に対する安全面の指導その取組
(5)準則22による都市・地域再生等利用区域の指定に関する取組	●都市・地域再生等利用区域の指定に向けた、公募や河川敷地の利用調整に関する会の取組
(6)生物の生息・生育・繁殖の場の保全・創出に関する取組	●生物の生息・生育・繁殖の場の保全・創出に関する多様な関係者との連携・取組内容 等
(7)維持管理計画	●継続的な有効利用に関する計画 ●維持管理計画(地域の関係者と河川管理者との役割分担)
(8)その他特筆すべき事項	●地域、河川の特성에応じて必要な事項 ●状況写真 等

新市地区かわまちづくりの検討の経過

新市地区かわまちづくりについては、2025年(令和7年)2月の車座トークにおける地域からの提案を受け、福山あしな商工会青年部を中心とした「新市地区かわまちづくり委員会」が設置され、意見交換会やまち歩きイベント等を通じて、地域の声を集約しながら、コンセプトやゾーニング等が取りまとめられた。

新市地区かわまちづくり委員会の構成…福山あしな商工会青年部、地元企業、大学生、府中青年会議所等

<新市地区かわまちづくり委員会 活動実績>

2025年

- 3月 第1回意見交換会(かわまちづくり制度や北部地域分析ほか)
- 5月 第2回意見交換会(先進事例紹介・GW(問題点抽出))
- 7月 第3回意見交換会(GW(強みや魅力))
- 9月 第4回意見交換会(GW(強みを生かしかわまち広場問題解決))

2026年

- 1月 まち歩き(5ルートに分かれて実施)
SNSを活用して情報発信
- 2月 勉強会(講師:ミズベリングの有識者、パネルディスカッション)
- 3月 第5回意見交換会(コンセプト・ビジョン・ゾーニングの作成)
- 4月 ゾーニング案とりまとめ

ビジョン・コンセプト・ゾーニング案を作成

新市地区かわまちづくりの検討の経過

各意見交換会の参加状況

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
参加人数	40人	39人	49人	39人	45人

※オブザーバー含む

参加者
発起団体(新市地区かわまちづくり委員会)、経済団体(福山新市ライオンズクラブ、福山あしな商工会、新市町観光協会)、地元自治会、学校(戸手高校教員と生徒、福山平成大学教授)、地域団体(芦活部、戸手グラウンドゴルフ同好会、福相を楽しくする会、あしな台を楽しくする会等)、オブザーバー(国土交通省、福山市)等

意見交換会で出た意見

新市、芦田町の 問題点	新市、芦田町の 魅力・強み	新市地区かわまち広場に 必要な機能や役割	新市地区かわまち広場で やってみたいこと
<交流> ・交流が少ない ・コミュニティの担い手不足 <憩い> ・こどもの遊ぶ場所がない ・イベントが少ない <観光振興> ・情報発信が弱い	<文化> ・伝統的なお祭りや神社など歴史がある <自然> ・自然が豊か(水や星がきれい) <産業> ・繊維業(ワークウェア、デニム)が盛ん <観光振興> ・鉄道駅がある ・動物園がある	<交流> ・地域住民が集まれる大きい場所(交流できる場所) ・地域学習を交えたイベントの開催 <憩い> ・充実した遊具 <自然> ・水とのふれあい <観光振興> ・観光地を巡るルート	<文化> ・お神輿の担ぎ方の講座 ・伝統の祭りの開催 <憩い> ・こどもがスポーツをしてほしい <産業> ・産業展や農作物の販売 ・デニムを生かして魅力発信 ・特産物のマルシェ <自然> ・水中観察、星を見るイベントなどかわまち広場の空間を楽しむ

意見交換会で出た意見

新市地区かわまち広場をどう活用し、どんな課題解決につながるか

<交流>

- ・近隣の戸手高校では部活動でも使ってもらったり、探求授業と地域住民で地域活性化委員会のようなものを立ち上げ、地域をどうやって盛り上げるか考え、イベントなどを行う。
- ・かわまち広場でイベントを行い、周囲も歩行者天国のようにしてにぎわいを創出する。

<文化>

- ・神輿の担ぎ方講習会みたいなものを行い、祭りの楽しさをこどもに伝え、新市地区からの転出を防ぐ。

<憩い>

- ・地域の強みのきれいな水で育った野菜を使い、町内町外、老若男女、国籍問わずでバーベキューを行い地域を盛り上げる。

<産業>

- ・新市の「市」にちなんで、かわまち広場で繊維のアウトレット市やアスパラ市を開催する。

<観光振興>

- ・かわまち広場を起点に新市地区を回るバスを運行させ、動物園や神社などをめぐり、近隣施設との相乗効果を図る。
- ・動物園でのイベントとかわまち広場でのイベントを連携させて、どちらにも行ってもらうなど芦田町、新市町全体で相乗効果をもたらすコンテンツを創出する。

新市地区かわまちづくりの検討の経過

まち歩き 2026年(令和8年)1月25日

<開催状況>

参加人数:54人

参加者:発起団体(新市地区かわまちづくり委員会)、経済団体(福山あしな商工会青年部、地元企業)、地元自治会、学校(戸手高校)、地域団体(芦活部、eNShareほか)、福山市 等

<目的>

新市地区かわまち広場候補地周辺エリアである芦田町、新市町を実際に歩いて回ること、意見交換会だけでは見つけることのできないまちの強み・魅力を再発見するために実施。

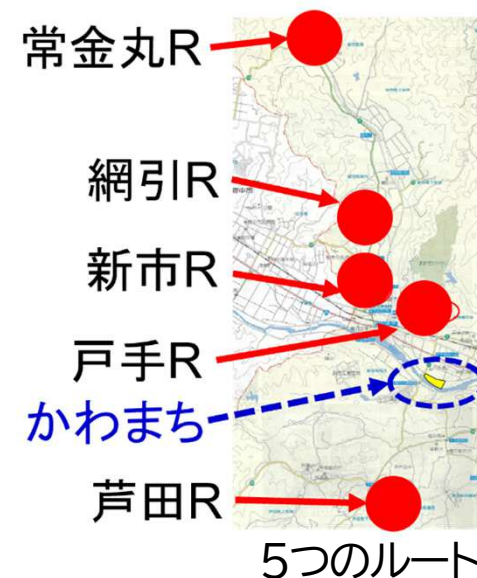
<内容>

まち歩き:新市町と芦田町を5つのルートに分けて散策

振り返り:ルートごとにまち歩きの感想や魅力的だと感じた場所などを全体で共有

<参加者の声>

- ・地域の知識人から、地元の人でも知らないことをたくさん聞けて、もっと他のことも知りたいなど地元に興味を持つことができた
- ・地元なのに初めて行く場所が多く、にぎわい創出のアイデアも出た



新市地区かわまちづくりの検討の経過

勉強会 2026年(令和8年)2月15日

<開催状況>

参加人数:70人

参加者:発起団体(新市地区かわまちづくり委員会)、
経済団体(福山あしな商工会青年部、久松ライオンズクラブ)、
地元自治会、地域団体(芦活部、IKOF、府中青年会議所、
福相を楽しくする会、あしな台を楽しくする会)、
地元病院、下戸手子ども会、福山市、府中市 等

<目的>

かわまちづくりの経験が豊富な講師を招き、かわまちづくりの事例紹介や新市地区でのかわまちづくりの提案をいただき、機運を醸成する。

<内容>

講師:ミズベリングプロジェクトディレクター
株式会社水辺総研 代表取締役 岩本唯史様

内容:全国各地でのかわまちづくりの事例紹介
これまでの取組をもとに様々な提案
講師と地域の方でパネルディスカッション

<参加者の声>

- ・かわまちづくりを通じて河川空間から周辺エリアの魅力も向上しそう
- ・パワフルな講演で、自分には何ができるのだろうと考える時間になった



新市地区かわまち広場の利活用の目的

◆ビジョン

「この場所で、人生が重なっていく」

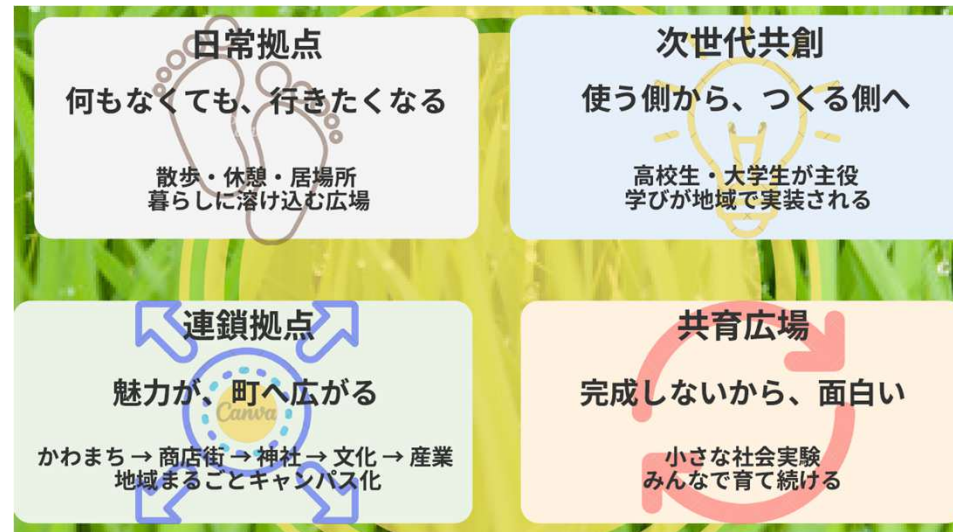
◆基本理念

「日常を大切にする・ひらいて関わる・地域で育てる」

◆コンセプト

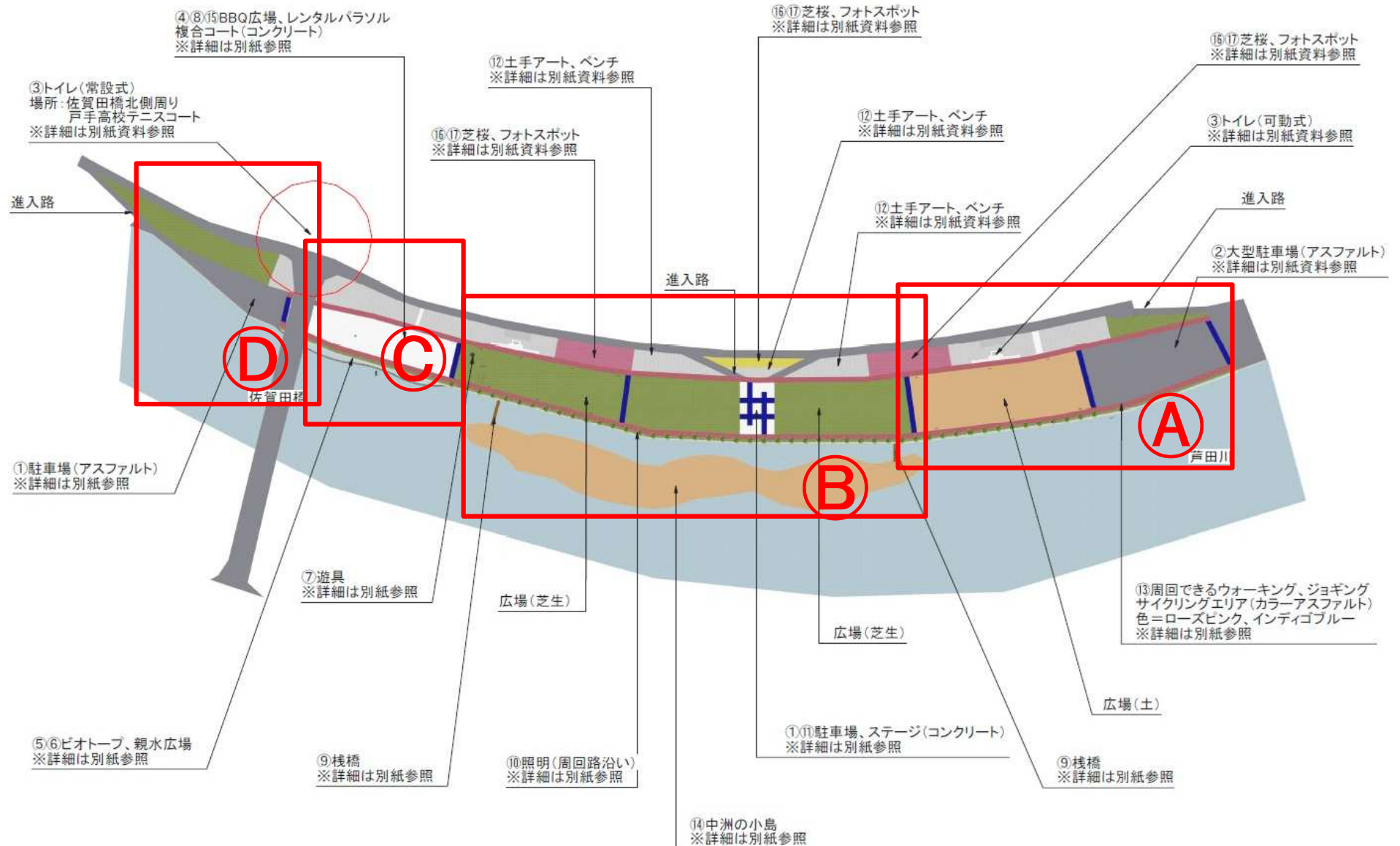
「地域まるごと広場」

～日常の中で、学び・遊び・集い・育つが交差する場所～



かわまち広場の利活用案

※実現可能性は一旦考慮せず、地域の意見をとりとまとめたものである



6月提出パース・論点整理

時期	第1回(R8.6.1)	第2回(R8.7頃)	第3回(R8.9頃)	第4回(R8.11頃)	(予備)第5回
検討項目	✓分科会設置等 ✓地元のこれまでの取組と提案 ✓ 6月提出パース ✓ 論点整理	✓LINEアンケート結果 ✓まち歩き結果 ✓論点に関する意見交換	✓「かわまちづくり計画」の骨子案に関する意見交換	✓「かわまちづくり計画」(案)に関する意見交換	✓「かわまちづくり計画」の成案化

●6月提出パース

「かわまち広場の利活用案」を国土交通省の事前協議及び関連予算確保のために提出してよいか

●論点整理

◇目的(ビジョン、基本理念、コンセプト)についてのご意見

◇目的達成のために機能や整備が必要か、規模、内容がよいかをハード、ソフトの項目ごとに検証

<ハード>

- ・トイレ 個数、常設/仮設、場所
- ・管理棟 場所、規模、機能
- ・その他整備にあたって代替案への変更や規模・配置の変更が必要と考えられるもの
 - 遊具(流れを阻害しないもの)
 - 栈橋(流れを阻害しないもの)
 - 坂路(上流側に降りていかないもの)
 - 照明(流れを阻害しないもの)

<ソフト>

- ・管理運営の方向性
- ・継続的な利活用の方法